

神戸学院大学大学院支給奨学金提出書類について

出願には下記の書類が必要です。書類が揃わない場合は受付できません。

全員提出	①	神戸学院大学大学院支給奨学金申込書(所定様式)
	②	学業成績証明書(原本)
	③	本人の収入証明書類(コピー)
	④	父母の所得証明書(原本)
	⑤	父母の収入証明書類(コピー)
該当者のみ提出	⑥	その他の証明書類

①神戸学院大学大学院支給奨学金申込書(所定様式)

記入もれのないように、作成してください。(※の欄については、該当欄を選択してください。)また、以下の事項には特に注意してください。

1. 「収入金額」欄は鉛筆で記入してください。
2. 2024年度にアルバイト収入の見込みがある人は、週あたりの就労時間を記入してください。
3. 「大学院進学目的と研究計画」で研究題目が決まっていない場合は、研究計画、決定時期等記入してください。「これまでの研究内容」についても、提出論文がない場合は、研究内容を詳しく記入してください。
4. 「奨学金を希望する家庭事情や、その他特に説明を要すること」は、できるだけ詳しく記入してください。
5. 「本人の1カ月の生活費」は、収支の合計欄が一致するようにしてください。学費に関して、本人が負担している場合は、1カ月分に換算して記入してください。
6. 「家族構成」は、同一生計の家族について職業・勤務先も含め、もれなく記入してください。

②学業成績証明書(原本)

修士課程、博士後期課程および薬学課程4年制の1年次生は、それぞれ卒業大学、修了大学院の学業成績証明書を、修士課程2年次生、博士後期課程2・3年次生および薬学課程4年制の2年次以上は前年度までの学業成績証明書を提出してください。(博士後期課程2・3年次生、薬学課程4年制2年次以上で現課程の成績が出ない場合は、修士課程の学業成績証明書を提出してください)。

③本人の収入証明書類(コピー)

・申請者本人にアルバイト収入等がある場合、収入金額を証明できる書類(源泉徴収票・年収見込証明書・月収証明書等)を提出してください。

④父母の所得証明書(原本) ※市区町村役場発行(発行日が申込日より3カ月以内のもの)

- ・生計を一にする父、母の所得証明書を提出してください。
- ・専業主婦、年金受給者等、無職の場合でも、所得証明書を提出してください。
- ・所得証明書の名称・書式は各地方自治体によって異なります。(例:市町村民税・県民税課税証明書など)
- ・税務署発行の納税証明書では受付できません。
- ・出願時点で最新のものを提出してください。

⑤父母の収入証明書類(コピー) ※A4 サイズで提出

- ・下表に該当する書類を全て提出してください。
- ・父母のうち、収入の有無に関わらず、該当する書類の提出が必要です。
- ・複数収入がある場合は、収入区別に該当するすべての書類の提出が必要です。

収入区分	所得の内容	提出書類	発行先
給与所得	会社員・アルバイト・パートの方	源泉徴収票 2023 年分	勤務先
	就職・転職して 1 年未満の方	年収見込証明書(別添の様式 A) ※提出できない場合は最新 3 ヶ月の給与明細書。賞与の有無も確認します。	
	退職(予定)の方	退職(予定)証明書 退職金支給額(予定)証明書	
商業 工業 林業 水産業 農業 自由業 サービス業 配当 不動産 雑所得等	確定申告をしている場合	2023 年度分確定申告書(第一表および第二表)の控え(税務署の受付印があるもの) ※インターネット申告の場合は、受付日時等が印字された確定申告書又は申告内容確認票の第一表および第二表	税務署に提出した控え
	確定申告をしていない場合	2023 年分市区町村民税・県民税申告書の控え(市税事務所の受付印があるもの)	市税事務所に提出した控え
	2023 年 1 月 2 日以降に開業等された場合(開業後 1 年未満)	2023 年 1 月～12 月の月ごとの収入金額、売上原価、必要経費(経費項目ごとの金額とその合計)が明示された書類(様式自由) ※事業所名、開業年月日、作成者の住所、署名・押印、作成年月日必要	該当者
年金・恩給 遺族扶助料	年金・恩給・扶助料を受け取っている方	支給通知書 (一番新しい金額記載のハガキ) ※複数の年金がある場合は、全て提出	関係官庁
傷病手当金	傷病手当金を受給中の方	直近 3 ヶ月の傷病手当金通知書	全国健康保険協会等
失業中	雇用保険受給中の方	雇用保険受給者資格証	職業安定所
	雇用保険申請中の方	退職証明書・解雇通知書	元勤務先
	父母いずれか(もしくは両方)で年度途中で退職され、雇用保険がない方	失業状態を証明する書類と生活費の出所を証明する書類、収入に関する事情書(別添の様式 B) ※作成者の署名・押印・作成年月日必要	該当者
生活保護	生活保護をうけている方	保護決定通知書もしくは 保護決定通知書など金額記載のもの	市区町村 福祉事務所
養育費 援助金	親戚等から援助をもらっている場合	年間金額が分かるもの、並びに無職・無収入であれば「収入に関する事情書」(別添の様式 B) ※作成者の署名・押印・作成年月日必要 ※口座振込であれば通帳のコピー添付	該当者
公的手当	児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当等を受給中の方	申込時点での手当の金額が記載された通知書や受給証明書等	市区町村 役場
無職・無収入の場合 (専業主婦等)	収入が無く、預貯金を切り崩して生活している場合	生活費の出し入れに使用している預貯金通帳(口座名義人と直近 3 ヶ月分程度の記帳部分の分かるもの)のコピー、並びに「収入に関する事情書」(別添の様式 B)	該当者

⑥ その他証明書(該当者のみ)

申請書に記入した家族、もしくは家計が下表の事由に該当する場合は、指定の証明書を提出してください。

所得から控除されます。提出がない場合は、控除対象になりません。

事由	提出書類	発行先
障がいのある方がいる世帯 (申請者本人を含む)	手帳等の写し ※氏名・等級が分かるもの	市区町村役場 都道府県庁
6 ヶ月以上の長期療養を要する 方がいる世帯	医療費等の明細書(コピー可、直近6ヵ月分) ※6ヵ月経過していない場合は、申込時点の分まで ※申請時点で療養を終えている人は控除対象になりません	病院・薬局
	長期療養控除申請書(別添の様式C) ※金額は鉛筆で記入すること。 通院期間等が分かる書類(発病時期、通院頻度等)	—
出願の前年から出願時までに災 害のあった世帯 (風水害・地震・火災等)	罹災証明書	市区町村役場 消防署
	被害額が分かる書類 ※保険金等で補填される金額は除く	税務署 該当者